

文部科学大臣からのメッセージ

保護者、学校の教職員のみなさんへ

日本全国で「新型インフルエンザ」が流行しています。

子どもたちには、新型インフルエンザにかからないようにするため、外から帰ったら、必ず、うがいと手洗いをしっかりとりするよう、指導してください。

学校や家庭におかれては、子どもたちの健康観察を行い、子どもたちの健康管理に気を配ってください。

子どもたちにかぜやインフルエンザの疑いがあるときは、すぐに医師にかかるよう指導してください。特に、慢性呼吸器疾患や慢性心疾患等の基礎疾患がある子どもたちに対しては、早期受診、早期治療を指導してください。また、症状が出た場合は、咳エチケットの励行、マスクの着用、外出の自粛を指導してください。

国や地方公共団体が発表する正確な情報に基づき、冷静な対応をお願いします。

平成二十一年九月一日

文部科学大臣 塩谷 立

文部科学大臣からのメッセージ

子どもたちへ

日本全国で「新型インフルエンザ」がはやっています。

新型インフルエンザは、うつりやすいといわれています。

新型インフルエンザにかからないようにするため、外から帰ったら、必ず、うがいと手洗いをしっかりしましょう。

せきやくしゃみが出るときは、ティッシュなどで口とはなをおおい、ほかの人から顔をそむけ、できるかぎりはなれてください。このことをせきエチケットといい、かぜやインフルエンザがうつることをふせぎます。

せきや熱が出るなど、かぜやインフルエンザにかかったかなと思ったら、すぐにお医者さんに行ってください。かかったことがわかった場合は、ほかの人にうつさないようにするため、マスクをつけたり、せきエチケットをしてください。

また、学校は休んで、外には出かけないようにしてください。みなさん一人ひとりがしっかりとうがいや手洗いなどをすることが、とても大切です。おうちの人や先生の言うことをよく聞いて、しっかりとやってください。

平成二十一年九月一日

文部科学大臣
塩谷 立